

# アンケートに記述いただいた内容

第3回 コメ政策と飼料用米の今後に関する意見交換会

開催日時: 2018年(平成30年)11月28日(水) 13:30~16:30

開催会場: 食糧会館 5階会議室(東京都中央区日本橋小伝馬町15-15)

参加者: 74名

参加者の意見、要望など 記入者(組織の業種・分野 担当分野 年代)

質問項目	
A	開会挨拶
B	基調講演「米政策の推移について」
C	基調講演「飼料用米の推進について」
D	話題提供 昭和産業株式会社
E	話題提供 太陽工業株式会社
F	意見交換会(質疑応答)
G	閉会の挨拶
H	全体を通して(なんでも結構です。質問で回答を求める場合は、メールアドレスをご記入ください。)
<b>生産者団体 酪農 50代</b>	
B	共通課題を定義する必要性、今後担い手に対策の明確化
D	コストダウンの方策、ブランド度かの重要性。
<b>畜産の生産者団体 補助事業 60代</b>	
C	食料米の生産目標は110万トンになっているが、29年産は飼料用米の生産が減少。 畜産農家は今後集まらなくなるのではないかと心配している。 また、政策的に後退するのではないかと懸念している。 飼料用米の単収は549kgと低いのに驚いている。
<b>商社 40代</b>	
H	助成の仕組が継続的なものなのか。 削減されたり、停止されたら飼料米自体が終わってしまうという疑念に役所は答えてほしいと思いました。
<b>生協 畜産部門 50代</b>	
C	特に新しい情報がなかった。 先に、事前質問の回答が聞きたかった。 農水省の無策がはっきりし、がっかり。 小針さんの発言は、もともとよかった。
H	意見交換会時の身内の宣伝は必要ないのではないかと？ 意見交換時の司会進行はもうすこし工夫してほしい。
<b>物流(国内トラック輸送、倉庫)事業者 (海外フォワーディング、通関)</b>	
B	高齢化、人口減少、政策は現場からの提言を重視すべき。
C	人で不足、後継者不足は日本全体の課題だが、誰が生産するのか考えれば答えが出るのでは...
E	保管は需給調整の手段で、昔は米倉が多くあったが...
F	国産が1割なので、収量増による価格低減が実現すれば、増えると思うが...
G	自給しようとするなら、こういう時に国(税)が入れば?...
<b>報道 記者 50代</b>	
H	わかりやすく様々な意見が聞けて良かった。
<b>未記載</b>	
H	飼料用米などが大切かよくわかりました。 メールでの参加申し込みが分かりにくかったでの改善を希望します。

<b>食料メーカー 乳酸菌の営業企画 60代</b>	
H	何故 US メイズが安いのか？皆できちんと理解する要があると思います。
<b>食品流通 米・農産・畜産・卵・牛乳 50代</b>	
H	基調報告は、本年度の状況や今後の見通しなど新たな情報提供が欲しかった。
<b>飼料メーカー 原料購入 20代</b>	
H	政府として助成金継続の「意向」を持って下さっている点は安心した。 耕種農家の方がいらっしゃらなかったが、もったいないと思う。
<b>商社 農業資材の商社 米穀・青果物の流通業者 肥料・特殊資材の技術職、新規ビジネスモデルの提案</b>	
H	助成金がないと成り立たない飼料用米生産がいつまで維持できるのか？ 農林水産省の方針次第かと思えます。今後とも情報をいただければと思います。 安定して高収量が得られる多収品種の育成が必要と思えますが、最近育成中の品種でも構いませんので、農研機構の方からもお話がお伺いしたいです。
<b>配合飼料メーカー 飼料用米の購買担当 30代</b>	
H	まず単収を挙げていただかないと、使いたくとも使えないのでは、どうしても飼料用米の買いにくさが目立ってしまいます。(高くても、目をつぶって買っています。) 価格が決まるのが6月なのに、実際に使用するのは秋以降。先物取引であるのも悩ましい。 農政局に提出する書類が多すぎるのも難点で、事務作業学に感じます。 飼料用米の価格は、時と場所によって、コーンより高いです。(飼料工場使用ベースで) 稲作生産者には好きに作っていただいて、どこかの団体で一括で買い上げ、用途に応じて別価格で授与押下に売るのはいいかがでしょうか。助成金はその単価差にあてるとかで…
<b>産業機械製造業(メーカー) 環境関連製品の販売 40代</b>	
A	飼料用米作付けを減らす動きがあることを知らなかったのが驚いた。
B	飼料米粉製造に関する助成金の可能性はあるのか？
C	トウモロコシ代替ポテンシャル 1000 万トン／年の飼料米マーケットは面白いと思う。
D	ひよこ用粉碎米飼料の製造法に興味があります。
E	20,000 円／袋のフレコンバック運用システムの構築がキーポイントとなるのでは？
F	主食用米が毎年 8 万トンずつ減少していく中、転作を含めた水田フル活用は困難か？
G	閉会の挨拶の通りだと思います。
H	3,304 億円の助成金がどうなるか？ 国内畜産業の最大の課題は輸入飼料への依存率である。 TPP を見据えてエサに対する助成を手厚くすることは大事である。
<b>飼料添加物業界 製品のテクニカルサービスマネジャー</b>	
B、D、F	よかった。
H	案内メールが少しわかりにくかったので工夫していただけるとありがたい。
<b>産業機械製造業(メーカー) マーケティング 50代</b>	
A	ゆっくりした口調で非常に良かった。
B	畜産飼料について期待しています。
C	補助金ありきに少し疑問が残る。
D	飼料の備蓄に対して興味深く聞かせていただきました。
F	活発な意見が出てよかったが、不勉強のために、勉強したいと思いました。
H	飼料米の普及に関して、補助金の頼っている印象が強いし、単価目標のトウモロコシと競合する価格は補助金を加味したものか？教えていただきたい。不勉強で申し訳ないですが、お願いします。
<b>地方公務員 農業普及員 畜産(大動物)、飼料作物生産・利用</b>	
E	資材費のみのコストが示されていたが、管理運営費は運用法などにより様々でしょうが、どのくらい経費が掛かるものか、あるいは把握されているのかわかる範囲で教えてもらいたい。
<b>種子、農業の製造、販売 種子 60代</b>	

A	協会の成り立ちが理解できた。
B	興味深い分析であった。
C	現状把握ができた。
D	飼料生産の実態が理解できた。
E	低コスト、保管資材としての可能性大だが、実績なしは残念。
F	小針氏の日本全体の資料をどうするのか？その上で、水田をどう使うのかという議論は正論。
G	TPP11等も視野に入れるということは回として必要という認識は良し。
H	地道な積み上げにより正解となり、何よりです。
<b>農業・畜産・食品加工 生産部(飼料用米生産担当) 50代</b>	
A	山口の視察ありがとうございました。今年もたくさんのお米がとれました。生産者の皆さん頑張っています。
B	政策の推移はわかりやすかった。米政策に左右されるのは仕方がないが、生産者の立場としては、安心して作れる環境づくりが大切。
C	データに出てくる多収品種割合は「知事特認」が多数を占めていて、本当の意味での超多収品種の利用割合はまだまだ少ないはず。もっと多収品種生産のための技術共有が必要ではないか？
E	フレコンバッグでの対応は小規模ならば可能かと思いますが、ある程度の規模となると難しい。
F	小針さんの話は共感できてよかったです。もっと聞きたいと思いました。
H	今後ともよろしくお祈りします。
<b>農業ジャーナリスト コンサルタント</b>	
C	10年後、20年後の姿を出してほしい。
<b>農機具製造業 顧問 60代</b>	
B	興味深い講演でした。将来のことをもっと書き込んでおいてもらいたい。
C	時節柄、話し難い(にくい)と思います。
F	進行、ご苦労様でした。
<b>農業経済 学術研究 20代</b>	
B	補助金の制度は変化が激しく感じていたため、わかりやすく整理していただき大変ためになりました。
C	全国的な動きがよくわかり、大変ためになりました。
D	課題を明確にいただき、興味深く感じました。今、まだ工場近くに生産地が集約されていないのか。でも米の作りやすいところだけでは全国的な問題解決につながりにくいのでは？などごちゃごちゃ考えてしまった。
E	保管場所に関する課題はよく耳にしていたので、一つの選択肢として大変興味深く感じました。農と製造という分野は、今まだ少し垣根のあることが分かり、その辺りのマッチングでもうまいくいようになればと思います。
F	各立場の方のご意見が分かって面白いと同時に垣根を超える場になっていると思いました。
H	大変勉強になりました。意見交換会を開いていただきありがとうございました。自分でも知見を広げて議論に参加できるようになっていきたいと思っています。